マルニ通信 vol.14

H29.4.2発行

＜染井吉野桜＞

桜花爛漫うららかな美しい春の季節を迎えております。「茗荷谷の猫」という短編小説の第１話にソメイヨシノの誕生の物語があります。染井吉野桜は東京染井村の植木職人が江戸時代末期に品種改良し染井村の名前にちなんで染井吉野と命名された桜です。物語では新しい品種を「見つける」という主人公に対し「見つける」ではなく「生み出すものではないか」という友人の問に主人公は「見つけるでなければいけないんだ」と言います。そこには主人公の強い生き方が込められていました。「自分の為」ではなく誰かの為に必死で新種を見つけようとする主人公の優しさと強さ、そして相手を心から思う生き方に胸が熱くなる場面です。ソメイヨシノの木は山桜を品種改良した木です。そこには品種改良をした人の努力と「見上げる人の為に」という想いや願いが込められているのだなと桜を見上げる度に思うようになりました。「様々な事思い出す桜かな」芭蕉の句です。皆様も桜の道をゆっくり歩いて美しい春を満喫して下さい。
鹿沼市千手山公園には３００本の桜の木があり観覧車から眺める桜景色がとても見事です。是非訪れてみてください

小田部　敏也

MARUNI　NEWS

モデルハウス公開中！！

AM10：00～PM4：00
4/2・9・16・23（全日、日曜日）
5/14・21・28
他の日時でも、予約にてご案内できます。
☎0289-62-2294
「モデルハウスの見学をしたい」とお電話ください。詳しくはHPまで！！

LIXILリフォームフェア開催！

昨年好評をいただいて、今年も開催することとなりました。
4/30(日)東京ビックサイトで開催の
LIXILリフォームフェア、そして浅草を観光するバスツアーです。
只今、絶賛参加者募集中です！
お問い合わせ・詳細はHPまたはお電話にて。

フォロワー募集中！

イベントの情報や、スタッフのシュールなつぶやきなどを更新中！！お気軽にフォロー、いいね等お願いします(^^)

QRコードから飛べます!!

マルニホーム　@marunihome

★建心会紹介★

㈲岩本電気商会
▽名前　岩本龍也
▽年齢　52歳
▽趣味　オートバイ
▽最近気になっていること
　花粉症
▽紹介
　いつも笑顔で朗らかな電気やさん。笑い方が豪快です(笑)！
　夏祭りでは、かき氷の担当です！

まるにん四方山話　H28.　vol14

「卒業式」　の話

ただ今卒業、入学式のシーズン真っ只中ですね。先日、娘が通う小学校の卒業式に出席してきました。自分の娘のではなく、PTA役員としてですが。何を隠そう私もこの小学校の卒業生ですが、なにぶん相当昔なので記憶もうっすらとしています。校舎も建替えられているし、当時の面影もないなぁ、なんて思いながら出席させて頂きました。

校長や来賓のあいさつのあと、在校生からの送る言葉や卒業生の言葉がありましたが、やっぱりそこがピークですね。一生懸命練習したであろう少し長めの言葉を大きな声ではきはきと全員で話しておりました。我が子の卒業ではないにも関わらず、感動で胸が熱くなってしまいました。我が子の時はどうなってしまうんだろう・・・。今からそんなことを考えてしまう親バカなのでした。

子供たちの新たな門出を祝いつつ、晴れやかな未来を願って。

小田部　正人

花逍遥

出会いの森総合公園

お花見の季節になりました！皆様お気に入りのお花見スポットはありますか？
鹿沼市の出会いの森総合公園では大芦川の河川敷に沢山のソメイヨシノが植えられています。あまり人がいない穴場スポットでおススメす(^^)/　屋台の食べ物やさんなどなく少し寂しいのですが・・・。桜の樹の下には遊歩道があってそこをお散歩するのも気持ちが良いし、樹の下でお弁当を広げてもゆっくりできます。
宴会を楽しみたい方はバーベキュー広場やオートキャンプ場があります。
園内に日帰り温泉入浴施設もあるので、お花見の後ちょっと休憩！というのもいいですよね。(^o^)／

松林　里衣子

ゆとり女子の日常

かなりスローペースではありますが、実はお部屋の改造計画が進行中です。(笑)壁面をドライフラワーで飾るのが流行っているようで、とてもかわいいので取り入れたいのですが、風水的にはあまりよろしくないみたいでどう飾るか悩んでおります（割と気にするタイプ）。
以前集めるのにはまっていたキャンドルや、ガラスの瓶などもいい感じに飾れればと、楽しいですが四苦八苦しながらやっています(笑)

柳田美穂

【さくら】　まどみちを

桜のつぼみがふくらんできた
と思っているうちに
もう満開になっている
きれいだなあ
きれいだなあ
と思っているうちに
もう散りつくしてしまう

毎年の事だけれどまた思う
一度でもいい
褒めてあげられたらなあと
さくらの言葉で
桜にその満開を

童謡「ぞうさん」の作家まどみちをさんの詩です。窓が大好きだった為「まどみちを」と名乗ったそうです。みちをさんの窓からどんな桜が心に映ったのでしょうか

小田部　久子